

## 性状

項目	アグリパテ アクア®	
	A 主剤	B 硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン ポリチオール
外観	白色	黒色
混合比(重量比)	1	1
可使用時間 23℃	16分	
項目	アグリパテ アクア® 冬用	
	A 主剤	B 硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン ポリチオール
外観	白色	黒色
混合比(重量比)	1	1
可使用時間 23℃	12分	

## 物性

項目	アグリパテ アクア®	アグリパテ アクア® 冬用	備考
硬化時間 (分)	5℃	—	80
	10℃	90	50
	23℃	45	30
	30℃	35	—
引張強さ (MPa)	10.0	10.0	JIS K6911 に準ずる
圧縮強さ (MPa)	60.0	45.0	JIS K6911 に準ずる
硬度 (シエAD)	85	80	
比重(密度)	1.7/1.7	1.7/1.7	主剤/硬化剤

## 製品形態

容量	アグリパテ アクア®	アグリパテ アクア® 冬用
10kgセット	A主剤:5kg、B硬化剤:5kg	A主剤:5kg、B硬化剤:5kg
2kgセット	A主剤:1kg、B硬化剤:1kg	—

## 取扱い上の注意

●取扱い上の注意をよく読み、正しい手順で安全に作業を行ってください。

- 1) 作業場所は十分に換気し、体質によってはかぶれることがありますので保護具等を着用してください。
- 2) 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去してください。
- 3) 付着した樹脂は、廃棄するまで必ず水に漬けておいてください。
- 4) 主剤・硬化剤や混合された材料の廃棄、洗浄した容器や廃液の処理は、自治体の定める方法で廃棄してください。
- 5) 指定された材料以外は混合しないでください。
- 6) 使用後は、容器の蓋を締めて冷暗所に保管してください。
- 7) 材料が固い時は室温や温水で温め、直火の使用はしないでください。

## 施工手順

施工方法動画は  
こちらのサイト  
もご覧ください



## 応急処置

- 1) 一般的な措置として、気分が悪い時は医師の診断を受けてください。
- 2) 吸引した場合、新鮮な空気のある所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させてください。
- 3) 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗い刺激等が生じた場合は医師の診断を受けてください。
- 4) 目に入った時は、多量の水で洗いできるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 5) 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。 ※ 詳細は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

販売店・お問い合わせは、

■本カタログの記載以外で使用される場合は、弊社にお問い合わせください。

- このカタログに記載されているデータは、規格値ではありません。
- 本カタログに記載されている信越ポリマー及び信越ポリマー製品の名称は、当社または当社の子会社・関連会社の有する登録商標、もしくは商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の記載内容は、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本パンフレットの記載情報を許可なく複製・模倣・流用・転載することを禁じます。

**ShinEtsu 信越ポリマー株式会社**

営業本部 営業第四部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル

TEL 03-5288-8416

<https://www.shinpoly.co.jp>

**ShinEtsu**

エポキシ樹脂系シーリング材

# アグリパテ アクア®

## 用水路工事の強い味方!!

2剤混合型 手練タイプ即硬化



●アグリパテ アクア® は、用水路などの湿潤面や水中でも接着可能な優れた機能性と使いやすい施工性のエポキシ樹脂系充填剤です。

信越ポリマー株式会社



# アグリパテ アクア<sup>®</sup>

アグリパテ アクア<sup>®</sup>は、用水路工事の接合用として開発されたエポキシ樹脂系の充填剤です。湿潤面や水中でも接着が可能で、施工性に優れ多用途で使いやすい樹脂系充填剤です。

## 特長

- 水中硬化可能。
- パテ（粘土）状なので、垂れにくく壁面や水中でも施工が可能。
- コンクリートに対する接着性に優れ圧縮強度も高い。
- **A主剤とB硬化剤の混合比が1：1**なので、作業しやすい。
- プライマーが不要で、工程を簡略化できます。
- 低温（10℃以下）での施工には、練りやすい冬用が適しています。

## 用途

- 亀裂部等補修 農業用水路、地下室、水槽等のコンクリート構造部の亀裂・欠損部補修
- 目地補修 護岸、トンネル、農業用水路等の目地補修
- 接合・防水 ヒューム管、塩ビ管等の各種パイプ接合
- その他 コンクリート、石材、金属、タイル、硬質塩ビ等の接合

## 施工手順（取扱説明書）

### 1 施工前準備品



- ・ワイヤーブラシなど（接着部清掃用）
- ・手洗い用バケツ・水
- ・ゴム手袋（同梱）・軍手・石鹸
- ・その他、必要に応じた安全保護具をご用意ください。

### 2 下地処理



接合、接着部及び充填部の接着に阻害する油分、付着物を除去しワイヤーブラシで清掃をしてください。

- 注1) 接合、接着部及び充填部は湿潤状態でも接着は可能ですが、乾燥面の方がより接着強度は高くなります。  
注2) 水を巻き込んで施工した場合著しく接着強度が落ちる場合があります。

10kgセット

※冬用あり



2kgセット



### 3 混合（手練り）

※施工方法は、ウラ面のQRコードから動画でもご覧いただけます。



ゴム手袋を着用し水をなじませて、硬化剤を少量取り出し石鹸で手を洗うようにゴム手袋表面に硬化剤を溶かしてなじませると、べとつきにくくなります。

### 4 塗り付け



充填部分にすり込むようになじませるとより良い接着効果が得られます。  
※ 可使時間が短いいため手早く作業を行ってください。

### 6 養生



硬化養生中は、震動・衝撃等を与えないように心掛けてください。

※ウラ面の「取り扱い上の注意」「応急処置」も必ずお読みください。



主剤、硬化剤を同量取り出し硬化剤を主剤でくるむようにもみ合わせながら完全に色むらがなくなるまで練り込みます。練り込み中にべとつきが出てきたら表面に水を加えます。※ **A主剤とB硬化剤の混合比=1：1**

### 5 接着



接着面の全面に充填剤がまんべんなく付着し、接着部に空気が入らないように充填し平滑にします。  
※目地や亀裂には充填剤を押し込み充填します。

### 7 完成

● 使用例  
↓ 水路目地の補修



硬化、充填状況を確認してください。

● 使用例  
配管亀裂部分の補修→

